

2023年度後期授業アンケートのサマリー

1 はじめに

平素は本学FD活動にご協力下さり有難うございます。2023年度前期に授業アンケートの設問の見直しが見直され、今回の2023年度後期授業アンケートは、見直し後2度目の実施となります。先生方のご協力により、滞りなく実施することができました。収集したアンケート結果を検討する形でまとめましたので、ご参照いただければ幸いです。なお本集計には履修訂正・削除者が含まれ、大学院科目とゼミナールは含めておりませんので、末尾の参考資料を含む同種の集計資料と差異がある点をご了承下さい。

2 アンケートの回収状況について

今回は履修登録者延べ数72,768件に対し回答数が46,489件となり、アンケート実施率は97.0%、アンケート回収率は63.9%でした。期末のご多用な中、アンケートの回収にご協力下さり誠に有難うございます。授業アンケートはFD活動その他に関わる貴重な情報であり、引き続き回収率の維持・向上にご協力頂きたくお願い申し上げます。

3 各設問の回答結果

今回の授業アンケートのうち、単一選択（複数選択不可）の設問について、最も多かった回答とその割合を下の表に示します。

表 各設問の最も割合が高かった回答とその割合

No	質問文：教員の授業の進め方・熱意に関する設問	回答	割合(%)
1	あなたにとってこの授業の難易度は適切でしたか？（新設）	適切	56.3
2	あなたにとってこの授業の進行速度は適切でしたか？（新設）	適切	78.2
3	あなたはこの授業に意欲をもって取り組みましたか？（新設）	意欲的に取組んだ	48.6
4	あなたはこの授業の到達目標をどの程度達成しましたか？（既設）	ある程度達成できた	56.8
5	あなたはこの授業に関して、事前・事後学習（予習、復習、課題など）を一週間平均でどの程度しましたか？（既設）	1時間	42.3
6	高い学習成果を修めてもらいたいという教員の熱意が伝わったと思いますか？（既設）	まあそう思う	41.7
総合評価に関する設問		回答	割合(%)
10	この授業は総合的に判断して良い授業であったと思いますか？（既設）	そう思う	38.4
11	今まで受けた授業の中で、この授業に順位を付けるとしたらどれくらいの位置づけですか？（新設）	中くらい	49.4

設問1は、「適切」に続いて「やや難しい」の回答割合20%と高い結果となりました。また、設問2は、「適切」に続いて「やや速い」の回答割合が高い結果となりました。この2つの設問への回答の傾向は、前期の結果と同様であり、「易しい、遅いと」感じている学生は少ないことがわかりました。

設問3は、「意欲的でない」と回答した学生は、約6%程度と少数でした。設問4は、過去の回答と同等の割合でした。

設問5は、「学習していない」という回答が続いて多く、30%でした。過去の回答と同等の割合ですが、自習時間が0から1時間という学生が7割を超えていました。

設問6は、「まあそう思う」と次に多かった「そう思う」の回答で7割を超えていました。これは過去と同等の割合でした。教員の熱意は学生に伝わっていると考えられます。

設問10は、見直しにより選択肢が変更されたため、過去と比べて評価値の平均値は低くなりましたが、「とてもそう思う、そう思う、ややそう思う」の回答を合計すると8割を超えていました。

設問11は、「下から1/3くらい」との回答が1割程度あり、受講した講義に満足していない学生の割合が一定数いることが確認されました。

4 複数選択が可能な設問の回答結果

次に複数選択が可能な設問について、上位3つの回答結果とその割合を下の表に示します。

表 複数選択可能な設問の回答

No	設問	回答（上位3つ）	割合（%）
		話すスピード 他	18.0
7	この授業でよかったと思うことはありますか？（新設）	環境・雰囲気作り	15.2
		配布教材	14.3
		特にない	57.1
8	この授業で改善してほしいと思うことはありますか？（新設）	話すスピード 他	7.1
		板書やパワポ	7.4
		教養・専門知識	22.5
9	この授業で成長したと感じる能力はありますか？（既設）	自ら継続的に学ぶ	14.5
		広い視野で考える	10.1

設問7と設問9は、述べ回答数から一人あたり2つ程度の選択肢に、設問8では1つ程度の選択肢にマークしたと考えられます。これは、前回と同様の傾向でした。

設問7「よかったと思うこと」の1位と、設問8「改善して欲しいこと」の2位が同じ内容（話すスピード・声の大きさ・マイクの使い方）でした。講義の受講に際して学生は、前に立つ教員の話し方に特に注意を向けていることがうかがえました。これは、前回も同じ結果でした。

設問7では、9つの選択肢のうち、6つの回答が10%台であり、回答が分散する結果となりました。この点も前回と同じ結果でした。それぞれの講義で教員が工夫した点を、学生が汲み取って回答していることが考えられました。2番目に割合が高かったのは、「授業中の環境・雰囲気づくり」でした。これは、教室という空間の中で教員の熱意を直に感じ、それが学生の受講の意欲につながるという、対面授業の醍醐味を感じての回答ではないかと考えられました。

設問8では、特に不満をもっていない学生の割合が高いことが示されました。ご担当科目で改善点が選択されている場合には、教員は真摯に受け止め、改善を検討する必要があります。

設問9は、「社会に出て活躍する際に必要な教養や基礎学力又は専門的な知識・技術」が成長したと感じる能力の割合がトップであり、「自ら継続的に学ぶ能力」が2番目に高い割合でした。過去の授業アンケートにも同様の質問がありましたが、選択肢が増え、文言が一部変わりました。しかしながら、選ばれた回答は、過去の授業アンケートと同じ結果となりました。回答数が少なかった選択肢は、「プレゼン能力」「協力して作業する能力」「総合的に判断する能力」でしたが、座学が中心の科目では、何らかの工夫がないと選択されません。一方、演習・実験科目をご担当の場合には、これらの回答割合が高くなっているかご確認いただき、今後の授業運営に生かしていただけますようお願いいたします。

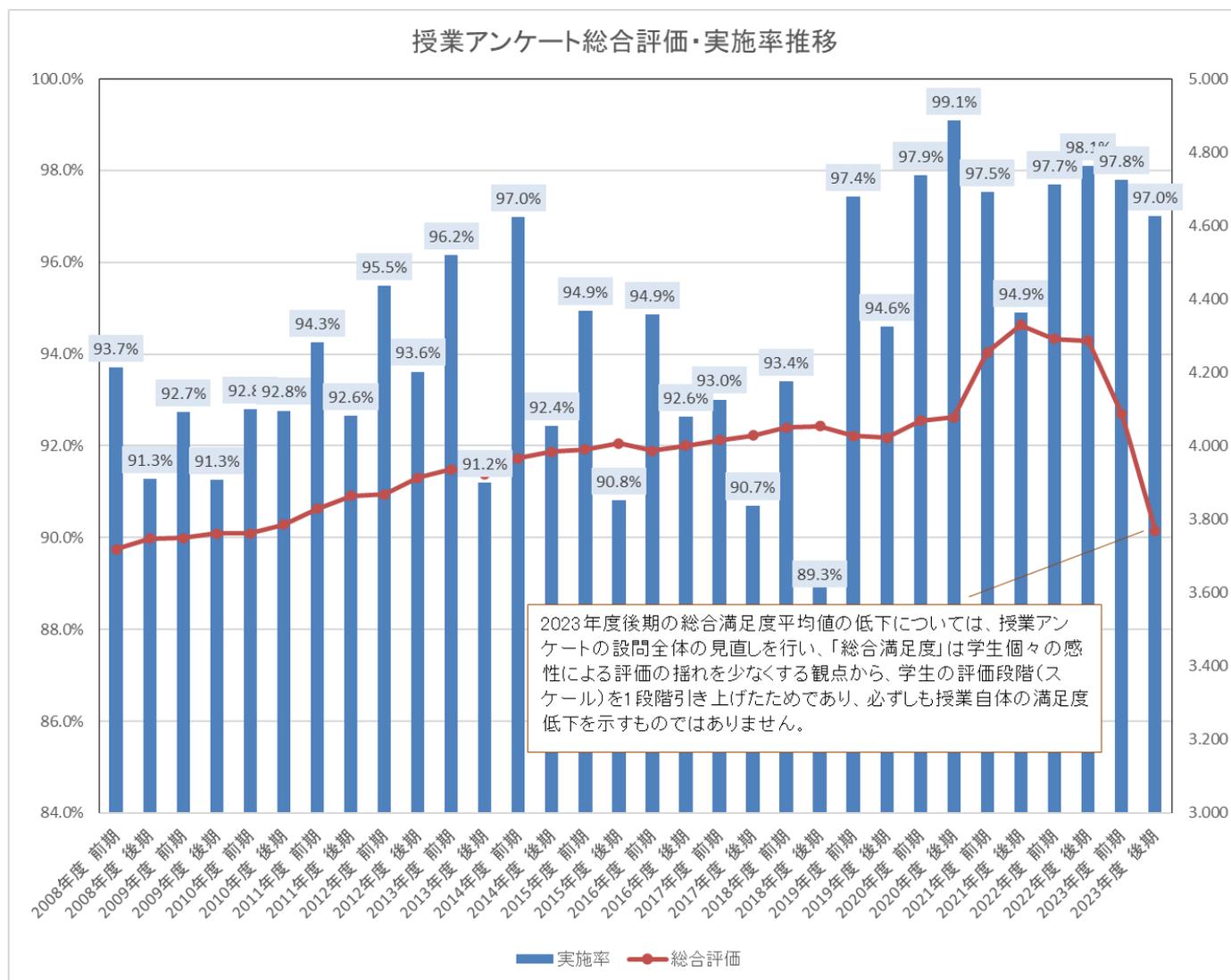
5 おわりに

2023年度後期は、ほぼ対面で授業が実施されました。先生方には、コロナ禍で試行錯誤されて得た様々な工夫を対面講義に生かして実施していただいたことと思います。今回の授業アンケートは、前期に設問内容の一部が見直されてから、2回目の実施となりました。新設の設問1-3の結果は、前回とほぼ変わっておらず、大半の学生が意欲をもって受講している様子がうかがえました。また、教室の雰囲気や教員の話し方に注意を向けている様子がうかがえ、対面授業で学んでいることを意識した結果となりました。教員の熱意や工夫は、しっかりと学生に伝わっており、高い満足度につながるものが過去の授業アンケートからも示されています。引き続き、先生方におかれましては、授業準備にご尽力いただけますようお願い申し上げます。

一方、懸念としては、学生の自習時間が短いという傾向が、今回の授業アンケートでもみられました。また、授業の難易度が高い、速度が速いと回答した学生の割合が、やや高いと感じました。こちらも前回の授業アンケートと同様の傾向でした。今後の学力低下が心配されますので、予習を促すような仕組みを設け、自宅での学習を促すような工夫がさらに必要であると考えられます。

授業提供の方法論やシステムは日々進化しておりますので、継続的な情報収集・試行錯誤が益々重要となります。FD委員会では、本学が掲げる師弟同行・師弟共生の教育目標に沿った質の高い教育が実践できるよう、多角的な視点と多様な情報源から現状を捉え、改善施策を検討して参る所存です。先生方におかれましても、まずアンケート回収率のさらなる向上にご協力頂き、そのうえで授業改善に向けた積極的・継続的な試行錯誤とブラッシュアップ、またFD委員会が主催する講習会などへのご参加をお願い申し上げます。

参考資料



■授業アンケート評価点推移（2008年前期～2023年後期）

	実施率	総合評価		実施率	総合評価
2008年度 前期	93.7%	3.718	2016年度 前期	94.9%	3.986
2008年度 後期	91.3%	3.748	2016年度 後期	92.6%	4.001
2009年度 前期	92.7%	3.749	2017年度 前期	93.0%	4.015
2009年度 後期	91.3%	3.761	2017年度 後期	90.7%	4.028
2010年度 前期	92.8%	3.762	2018年度 前期	93.4%	4.049
2010年度 後期	92.8%	3.786	2018年度 後期	89.3%	4.053
2011年度 前期	94.3%	3.829	2019年度 前期	97.4%	4.027
2011年度 後期	92.6%	3.864	2019年度 後期	94.6%	4.022
2012年度 前期	95.5%	3.868	2020年度 前期	97.9%	4.069
2012年度 後期	93.6%	3.914	2020年度 後期	99.1%	4.078
2013年度 前期	96.2%	3.936	2021年度 前期	97.5%	4.255
2013年度 後期	91.2%	3.922	2021年度 後期	94.9%	4.329
2014年度 前期	97.0%	3.966	2022年度 前期	97.7%	4.325
2014年度 後期	92.4%	3.984	2022年度 後期	98.1%	4.286
2015年度 前期	94.9%	3.990	2023年度 前期	97.8%	4.086
2015年度 後期	90.8%	4.006	2023年度 後期	97.0%	3.769

以上